



Pick Up Dreamer

御前崎中学校3年

野口 颯

Ryou Noguchi

父を越えて世界へ

1月に開催された「第21回全日本アマチュアウエイブ選手権」メンズスペシャルクラスで、御前崎中学校3年の野口颯さん（中原区）が見事優勝し、プロ資格も獲得した。

颯さんはプロ選手として活躍していた父・貴史さんの影響を受け、小学2年生からウインドサーフィン始める。小学6年生のころから本格的に大会に出場し始めると、ウインドサーフィンの難しさを痛感し貴史さんに対して憧れの感情を抱くようになった。

「父とはこれまで2回対戦し全敗しているんです。最近はやっと同じ土俵に立ててきていると感じています。次こそは絶対勝ちたい」と意気込む颯さん。貴史さんは「地元のプロ選手である石井孝良・颯太兄弟から良い影響を受けて成長が著しい。僕はいずれ息子に負けてしまうでしょうね」と息子の実力とやる気に期待を膨らませている。

ウエイブの聖地・御前崎

御前崎の海は、陸地に対して平行に風が吹き、波も高いことからウインドサーフィン愛好家から「ウエイブの聖地」として人気のある場所だ。

颯さんは現在、自身の活動に加え、「御前崎ウインドサーフィンクラブ」のキャプテンとして後輩の育成と競技の普及にも汗を流している。

「御前崎の環境は恵まれている。ウインドサーフィンは競技人口が少ないので、少しでも普及させたい」と話す。

夢は世界チャンピオン

4月1日から正式にプロ選手となり、7月、8月にはスペインで開催される世界ツアーが控えている。「初めての環境の中、世界の強豪相手にどこまで自分のサーフィンができるか、楽しみ半分、不安も半分です。結果を残せるよう頑張りたい」と自身の実力を試すことができる機会に目を輝かせる。

最終的な目標は「世界チャンピオンになること」と熱い眼差しで話す颯さん。うれしいニュースが我々のもとに届くのもそう遠くないだろう。

